

あらゆる活動は、次代の育成につながる



天理教基礎講座 TENRIKYO BASICS COURSE

■11月6日(日) 13時30分 教務支庁
本部講師 弘長 健 (周東大教会長)
■12月4日(日) 13時30分 教務支庁

北海道教区報

第531号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011(561)-1148
FAX 011(561)-1190
E-mail:kyouku-hk@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社

第11回北海道教区

音楽祭開催

10月2日(日) 教務支庁において、第11回北海道教区音楽祭が開催された。この音楽祭は、10年前の教祖120年祭の年に、これから必要なことは「人づくり」であるとして、音楽という文化活動を通して、将来の道を担う若い人々の育成を図ろうと、「小さな種まき」からとして始められたものです。

第1回から3回目までは、教務支庁を会場に開かれ、第4回以降は小樽を皮切りに、旭川、沼田、胆振、岩見沢、新十津川、岩見沢(2回)の各地において、地元支部のご協力を頂き続けてまいりましたが、今回は、久々に振り出しに戻り、教務支庁での開催となりました。

当日は、10月初めとしては暖かな好天気に恵まれ、参加5団体の出演者、引率の方、地元札幌の教友に加えて、午前中が支部長会議であったため、多くの教区役員、支部長諸氏が参加してくださり、総参加者は、228名でした。

午後1時、佐藤ひとみさん(札幌中南支部・陽気栄分教会)の司会のもと、西垣教区長の開催

の挨拶に続いて、第1部として教区合唱団(コール・ノースピュア)が、「親神様の守護(おやのまもり)」を手始めに、教祖のご逸話を元に故團伊玖磨氏が作曲した「ぶどうの房」、中山正善2代真柱様の詩で、著名な合唱曲作曲家、多田武彦氏作曲の「甲斐絹娘(かいきむすめ)」第8曲を演奏しました。

続いて、庄田道則札幌中南支部長によるサクソスの演奏があり、休憩をはさんで第2部は鼓笛演奏。夕張団鼓笛隊、高台鼓笛隊、統北鼓笛隊、小樽支部鼓笛バンドの順で、「少年会の歌」や、こどもおぢばがえりのテーマソングである「笑顔ひろがれ!たすけあい」等を演奏しました。

次は恒例のスタッフによる演奏で、演奏会直前のわずかな時間でリハーサルをしただけで「親神様の守護」を見事に演奏しました。

最後は鼓笛の合同演奏で、総勢約80人。再度「笑顔ひろがれ!たすけあい」を演奏し、高橋太志教区育成部長が終演の挨拶を述べて、1時間半にわたる音楽祭の幕を閉じました。

【音楽祭担当・荒川 記】

12月10日(土)~11日(日)

会場：教務支庁

学生会おつとめ総会

日時：10日午後2時~11日午後3時
参加対象：高校生・大学生・専門学生など
持ち物：お米3合、ハッピー、宿泊道具、風呂道具、おつとめ着
参加費：1000円



少年会わかぎの集い

集合：10日午後2時
内容：少ひDVD鑑賞、ゲーム等
持ち物：おつとめ着、風呂道具等
参加費：500円

おつとめは学生会、わかぎの集い合同でつとめます

『全道の秋空に天理王命の神名流れる』 神名流しの拍子木の音



今年の9月末の全教一斉にをいあげデーは、全道的に3日間とも変わりやすい秋の空ながらも、活動に支障のない天候に恵まれ、すべての支部で勇んだ活動となった。

俱知安支部では、にをいあげデーの3日間のみならず、9月10日、17日も全体活動を繰り広げて、管内でリーフレットを例年の倍に当たる1万部配り切った。日高支部、天龍支部も30、50名と人数も多く、細長い管内のあちこちで路傍講演、神名流し、戸別訪問、リーフレット配布と充実感いっぱい。空知支部でも滝川、砂川、美唄などの各組で、市内の何ヶ所にも移動して路傍講演し、多くの人の目に留まった。

総じて、都会の支部ほど参加者が少なく、教会長さんの高齢

化による行事参加の減少が、取りも直さず布教所長、ようぼくの参加者減少に繋がっているようだが、また、積極的な支部との二極化が顕著になっている。

その中、札幌北西支部では、にをいあげ実動の前に『布教講話』を聞き、その後再び教会へ戻り、『振り返り』をして勇んで頂いて好評だったという。これは意義付けと確認がしっかり出来るので、誰もが『教祖のようほくとしての自覚と、その役目を果たせた充足感』を味わえるので、次の勇みに繋がると思われた。

苫小牧支部では、最終日の30日、圧倒的多数の62名で活動した。また、旭川支部と上川支部が合同で、旭川市のメインストリート『買物公園』で重なるように神名を流し、路傍講演を



行った。他に、教会長になりたての方や、宗谷支部では17歳の女子青年委員長が、透き通るような爽やかな声で路傍講演をされたとか。

全道の津々浦々で、教友の勇んだ姿が見られる3日間だった。(にをいあげデー報告書より)



台風被害による 災救隊活動報告 続報

北海道としては、未曾有の台風被害となったこの年、河川の氾濫による甚大な被害を被った南富良野町へは、重機やダンブ、また心に「たすけ心」を満載にした多くの災救隊員が駆け付けた。作業内容のほとんどは、人海戦術を頼りとする汚泥除去や清掃作業。着替えがいくらかあっても足りないほど泥まみれになりながらの作業であった。活動初日には町長が、また最終日には副町長が宿舎にお越しになり、涙ながらに感謝の意を表される一幕も。今回の出動を通し、改めてたすけの場へ急行することの大切さと、現場で強く感じる痛みを通して、たすけあいの尊さを学ばせていただいた。

また、十勝支部隊は、新得町で2次にわたり災救隊を派遣。住宅の瓦礫や土砂の除去作業等を行った。

また8月に台風7号による被害があった釧路でも、教職舎の屋根の被害があった教会に釧路支部隊が出動。建物内部からのゴミの除去やトタンの除去をし、処理場への搬出を行った。

尚詳細は、教区隊発行の「災救通信」第9号をご覧ください。

南富良野町、空知川氾濫に伴う活動報告

■平成28年9月2日～3日
先遣隊 参加総数 49名
(内、婦人会7名)

作業人員のべ61名
作業報告
・総合福祉センター汚泥除去、事務用品搬出入及び洗浄
・公営住宅汚泥除去、畳・家財道具搬出

・町内道路バリケード製作など
(使用機材)
・タイヤショベル2台、トラック5台、高圧洗浄機2機、発電機2機など

■平成28年9月4日～6日

教区本隊 参加総数 71名
(内、婦人会10名)
作業人員のべ114名
作業報告
・総合福祉センター汚泥除去、地下室の泥水汲み上げ、その他清掃作業等
・公営住宅、各所側溝の汚泥除去、歩道等の陥没補修
・ゴミステーション復旧など
(使用機材)
・タイヤショベル2台、トラック6台、高圧洗浄機2機、発電機2機など

教理随想 十一

魂に栄養を

木岡 昭

9歳で失明し、18歳で聴力を失った東京大学教授の福島智氏は、盲ろう者としては世界初の常勤の大学教授である。その福島教授が「僕の命は言葉とともにある」という本を出版されていて私も読ませて頂いた。その本の中に「宗教は料理のようなもの」と書かれた一節があった。人間は生きていく上で物を食べて身体に栄養をつけなくてはならない。つまり料理された物を頂いて生命を支えているのだ。ところが人生には病気や災害事故など恐れや不安は常に存在している。それらに対応するには魂の成長、安定が必要だ。その魂の安定、成長のためには魂に栄養をつけなければならない。その料理が宗教ではなにかどうかというのである。人は自分たちを超える大いなるものの存在を必要としているというのだ。そこでいろんな料理を提供して魂に栄養をつけてきたというのである。

たしかに今の世の中は、科学技術の発展、制度の向上は昔よ

りはるかに進歩して、私達は便利になり楽しみも増えてきた。にも拘らず、すべてに自己中心の思想が増して、かえって悪がはびこり世界的に凶悪犯罪が多い。

云いかえれば、今日は進歩のおかげで、身体、特に脳に余分な脂肪のような栄養がつきすぎた結果である。それに反して魂に栄養をつける事は無意味だとするから、人として同じ魂をもつ人間全体の共動意識がうすれてきてしまった。これは魂が栄養失調になってバランスがとれなくなつた状態である。さらに申せば、信仰をしても魂に本来の栄養をつけるのではなく自己中心のために利用している者もある。

さて福島教授がいう「宗教は料理のようなもの」ということであれば、料理の元となる原料が必要なのは云うまでもない。料理の原料をどこから仕入れてくるのか、これが大問題である。栄養にならない原料で料理しても何もならないのであるから。

やはり魂の本当に栄養となるものは、創造主の人間創造の本来的思いを知り、思召しに添う以外にはない。それは生かされて生きていくという大前提を常

天理大学ふるさと会北海道支部 総会をおぢばで開催

9月25日、ふるさと会北海道支部は、教祖130年記念天理大会と題して、天理市ウエルカムハウスコトブキで開催。ふるさと会から小島先生・木下先生、天学から永尾学長、体育学部の正木先生が参加くださり、計29名が集まった。

例年はふるさと会北海道支部の総会は札幌などで年1回開催し、会活動の報告などをして懇

に頭から離さず、一列兄弟の思いで人様のたすかりを無上の喜びとする事である。こうゆう人は、神様から原料を仕入れて自分の心で料理をした人である。だから魂には喜べる栄養が十分ついていると思う。

魂に栄養がつけば、外見や物理的な諸問題に関係なく心は充実し、甲斐のある人生を歩めることは間違いない。



談しているが、昨年の席上で教祖年祭の年はおぢばで北海道支部の総会を開催すれば、久しく天理を訪れていない会員にもこれは良い機会になるのでは、との声から企画された。

当日2時より、ふるさと会館など袖之内キャンパスを見学後、バスで体育学部キャンパスへ移動、トレーニングルームや柔道練習場など、正木先生の解説付きで愉快な施設見学となった。

その後、4時よりコトブキの会場で開会、永尾学長から挨拶を頂き、近年、様々な部活動で

天理時報に 小樽の丸山さん紹介



現在、全国で時報手配り活動を行っている人は、1万4千人余り。道内でも数多くの方が、親の声を届ける活動に加わっている。その中でも小樽市の丸山博資さん(福森分教会ようぼく)は、毎回5部の手配りに歩く折に『みかぐらうた』を唱えて歩いていると、天理時報10月2日

優秀な成績を上げていることなどをお話し下さり、各会員のスピーチでも大いに盛り上がった。



号に紹介されました。

丸山さんは親ゆずりの熱心な信仰で、定年退職後に『三日講習会』に参加。そこで、時報の手配りひのきしんがあると知り、一年前から参加してきました。「まだ、てをどりをしつかり勤めることが出来ないの、まず地歌を覚えよう」と始められたようです。次第に大きな声で唱えるようになり、また手配りも勇んで出来るようになってきました。この9月のにいがけデーでは、支部活動にも3日間参加された様子。これから冬場、足元に気を付けて、手配りを勇んで勤めて下さい。

新教会長さん紹介

(平成28年8月26日お運び)

釧根支部

北標津分教会(嶽東)

奉告祭 10月9日



川上道春氏 (82歳)

富良野支部

北金山分教会(秦野)

奉告祭 10月1日



中村靖教氏 (31歳)

空知支部

あかるえ分教会(兵神)

奉告祭 10月16日



村上博幸氏 (61歳)

十勝支部

大樹分教会(仙臺)

奉告祭 11月1日



中尾義一氏 (49歳)

母親講座開催報告

去る8月28日、29日、31日と

教区婦人会(山本亨子主任)主催ブロック別母親講座が道内を5ブロックに分けて開催された。中でも31日は、大型台風による道路の寸断で会場に出来ない地域でも催しが危ぶまれたが、講師、ブロック担当者、受講者の思いが届いたのか、晴れ間のご守護をお見せ頂き、遠廻りの迂回路のなか例年より少ない参加者ながらも恙なく終了した。参加者合計602名。各ブロック別参加者は、

Aブロック(函館、渡島、八雲)

8月29日 グリンピア大沼

173名 講師 齊藤真善先生

Bブロック(倶知安、余市、小樽、札幌四支部、千恵広、苫小牧、室蘭、日高、南空知)

8月31日 教務支庁

183名 講師 和田与志男先生

Cブロック(空知、天龍、旭川、上川、富良野、紋別、天塩)

8月29日 上川分教会

105名 講師 永関正元先生

Dブロック(十勝、釧根、網走、北見)

8月31日 網走エコセンター

93名 講師 山本亨子先生

Eブロック(宗谷)

8月28日 沼ノ端分教会

48名 講師 甲谷 久先生



Bブロック 教務支庁会場

《空知支部 よふぼくおつとめ総会 開催》

10月1日、晴天の御守護を頂き、空知支部よふぼくおつとめ総会が開催され、新十津川分教会を会場に百十名が参集、盛大に勤められた。前日の『全教一斉にをいがけデー』にも多くの参加者があり、その勢いのままに当日を迎えた。祭儀式



の後、五交代でおつとめを勤め、総会式典となった。新谷支部長が挨拶に立ち「こどもおちばがえり」での子供達の心の変化を語り、『ちばの理』を強調した。直会ではビンゴゲームを行い、一等には『おちばがえり往復航空券』が用意され、会場を沸かせた。

けいじばん

◎法律に関する諸問題で相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。※雅楽練習会も併行して開催しています。(三布連)

◎毎月26日に本月份次祭選拜式を10時よりおこなっております。(ご参加下さい)

計報

- ・ 榎田真子様 9月5日出直 (80歳)
- ・ 久遠分教会前会長夫人 (渡島支部)
- ・ 広田真一様 9月11日出直 (91歳)
- ・ 本別分教会会長 (十勝支部)
- ・ 大西隆恵様 9月13日出直 (94歳)
- ・ 北網分教会会長 (網走支部)
- ・ 青塚 秋様 9月14日出直 (93歳)
- ・ 内幌分教会前会長夫人 (倶知安支部)

北海道教務支庁日誌抄

- 9月 24日 図書修理会 (9月19日~10月19日)
- 26日 本月份次祭選拜式
- 28日 全教一斉にをいがけデー
- 30日 布教の家北海道寮 寮祭
- 10月 1日 たすけ推進会議
- 2日 留萌会場 講師 奥村 尚人 (受講29名 累計8080名)
- 4日 教区音楽祭 任命願書発送
- 10日 第180回 基礎講座 教区会場 講師 和田 与志男 (受講7名 累計8087名)
- 15日 学生会例会
- 16日 教区報編集会議

女子青年大会 残り2会場

雨龍大教会
11月5日(土)12時~

教務支庁
12月3日(土)10時~

一人でも多くの参加お待ちしております